

## 「確かな学力を育む学習活動の創造」

=算数科の授業改善の取り組みから=

笛吹市立富士見小学校

本校は、平成17年度より3年間、山梨県教育委員会より「学力向上拠点形成事業」の研究指定を受けました。「確かな学力を育む学習活動の創造」をテーマに、算数科に焦点を当て、基礎・基本の定着を図る指導方法と学び合いの場の工夫を通して、子どもたちの学力の向上を図る研究実践に取り組んでいます。

そこで、授業改善の実践として、本年度は特に次の3つの内容に取り組みました。

### ◇ T T・少人数指導等学習形態の工夫

自力解決の場面での教室内コース別学習、支援を必要とする子に対応する個別指導、クラス数を増やす少人数指導等により、個に応じたきめ細やかな指導を心がけました。

### ◇ 学び合いの場の工夫

学習ノートやホワイトボードを活用し、互いの考えを比べ、話し合いながら解決の方法を見つけ出す

学び合いの場、言語表現活動を通して高め合う学習の場を工夫しました。

### ◇ 評価活動の工夫

授業の流れの中で、子どもの学びを受け止め学び合う関わりを支える評価活動、ノートに書かれた自力解決の姿から、つまずきに対する支援や新たな課題の提示方法の工夫をしました。

自己評価の資料として、数学的な考え方の育成とその評価に役立てる学習感想の活用と子どもの学びを支え広げる評価活動を工夫しました。

「楽しくわかる授業を！子どもたちに確かな学力を！」そんな願いをもち、学ぶ楽しさを味わう学習活動の工夫と教材の開発、学習形態の工夫、児童の学力の評価を生かした指導方法の改善等に、今後も取り組んでいきたいと考えています。



T T・少人数指導等学習形態の工夫



学び合いの場の工夫

## 「わかば養護学校との交流教育の取組」

農林高校

本校は、昭和57年より交流教育としての取り組みを始め、今年度で23年が経ちました。特に、農業クラブ役員を中心に交流会を行っています。

交流会は年間3回実施され、6月田植え、11月収穫感謝祭、12月わかば養護学校での交流見学会となっています。6月の田植えには生徒会役員も加わり、収穫祭で使う餅米を植えます。生徒が互いに協力、助け合い泥だらけでの作業になりますが、とても朗らかな雰囲気の中で行われます。収穫祭では、餅つきやバーベキューでの交流会を行います。自分達で植えた餅米での餅つきや会食では楽しい一時を過ごせました。

12月はわかば養護学校へ訪問しての発表会やゲーム、校内見学、会食を行いました。本校生徒、わかば養護の生徒が、各班を編制しての交流ゲームや校内見学での学校の取り組みを見ることができました。

この交流教育で、生徒は互いに協力し、助け合う事を学ぶとともに、優しい心を持つことができました。交流を通して互いに共感し、帰り際に生徒達が涙する場面もありました。この交流教育で本校生徒も考えたこと、感じたことがあったと思います。今後もより充実した交流が出来るよう協力し、継続して行っていきたいと思います。



# 教職員のさらなる資質の向上を目指して！



～山梨県総合教育センター 教育指導部～



## ◇研修の中核を担う教育指導部

山梨県総合教育センター（以下「センター」という）は、教職員の資質向上を目指して研修の企画・実施および山梨県の教育研究の中核施設として現場に役立つ研究資料・情報の提供を行っています。その研修の企画・実施の統括を担っているところが教育指導部という、センターのなかで最も大きな部です。

研修は、対象者が必ず受講をしなければならない「悉皆研修」と教職員が希望して受講者する「一般研修」に分かれます。

今年度も、研修改善のため、研修終了後に各受講者からアンケートを取り、分析をしました。その結果、研修実施時期など、一部に見直し希望意見が見られたものの、実に九五%以上の受講者が満足という研修であったということがわかりました。

このことは、確かに県内外から招聘した講師の力に負うところが大きいのですが、研修を担当する主事自身が良き講師となるために、昨年度より研鑽を積んで講義や演習に臨んだことも、その一因になったことと思います。

今後、これまで以上に皆様のご期待に添える研修の企画・運営に努めて参ります。



（10年経験者研修：大研修室）

## ◇教員の資質向上のための研修に向けて



（初任者研修：初等理科実験）

者が資質向上のためにセンターを訪れることが予想されます。

そこで、センターではこれまでの研修を大幅に見直し、より質の高い研修内容を提供するための取組を進めています。

時代の要請や今日的課題を鑑み、学校現場で役立つ、活用できるような研修講座および内容の構築を目指し、日々努力しています。

是非、先生方が自らの資質向上のために、可能な限り研修を受講したり、またはセンターホームページにリンクして、教材集や指導案を活用したりするなど、大いにセンターの有効利用を考えてください。



（天野 宣氏が講師の音楽科研修）

## ◇博物館との連携研修

博学連携という講座が、センター研修のなかで設けられていることをご存じですか？

昨年十月に開館した博物館をご覧いただいたでしょうか。すばらしい施設です。より多くの教職員の皆様方に見学していただき、社会科や総合的な学習の時間等の教材として活用していただきたいとセンターからも切望します。

本年度も、センターの研修のなかに、「博学連携」という講座が設けられ、博物館の活用等について熱心に研究が行われました。

また、学校現場から研修に來ている留學生の一人が、博物館利用に関する「学習パッケージ」の研究をまとめました。学校現場でもすぐに使える研究だと思えますので、是非参考にしていただきたいと思います。

（淡雪に包まれるビオトープ）



（本館前の池周辺）

※ビオトープとは  
生物群の生息場所



（池面に映える秋の風情）

四季折々の  
風情を  
楽しむのも  
一興ですよ…

## 新委員長に

### 曾根修一氏が就任

県教育委員会では、内藤いづみ委員長らの任期満了に伴い、十二月二十日の教育委員会において、後任の第六十七代委員長に曾根修一氏を選任しました。

新委員長の任期は、平成十七年十二月二十一日から平成十八年七月十五日までです。

新しい時代を切り拓く心豊かで活力ある児童生徒を育てるために、教育が果たす役割、なすべきことは極めて重要であると考えています。特に、児童生徒にかかわる悲惨な事件、事故が起きている昨今、児童生徒の「命と安全を守る」一取り組みは急務です。そのためには、教育に携わるすべての関係者の連携、危険管理体制の速やかな整備、安全確保への取り組みの充実などに努める必要があると考えています。また、豊かな自然環境のな



委員長  
曾根 修一

かで育った児童生徒に、地域を学ぶ機会を通して「心に故郷を持てる」ようにすることもこれからの時代を生きていくうえで大事なことでと考えています。さらに、児童生徒がお互いの気持ちをわかりあえ、伝えあえるようにするために「コミュニケーション能力(国語力)」を高める取り組みにも力を入れていく必要があると考えています。県民の皆様の教育への期待に応えられるよう全力を尽くしたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

## ● ひとこと ●

## Let's ぱすふぁいんだー！「郷土食についての情報の探し方」

### 山梨県立図書館

ふるさと山梨の食べ物を調べてみましょう。

#### 1 百科事典などで、「郷土食」に関するおおまかな内容をつかみましょう。

(例)『総合百科事典ポプラディア』(ポプラ社)、『山梨百科事典』(山梨日日新聞社) など

#### 2 「郷土食」に関するキーワードをあげてみます。

(例) 郷土料理 郷土食 伝統食 食生活 食事 特産品 味 味覚 地産地消 ほうとう など

#### 3 図書で探してみましょう。

(1) キーワードをもとに、図書館資料検索システムで調べてみましょう。

県立図書館ホームページ(<http://www.lib.pref.yamanashi.jp/>)で山梨県内の図書館にある本が調べられます。

(2) テーマごとの書架で探してみます。

郷土食に関する資料は、主に「民俗」(38-)や「料理」(59-)の分野の書架にあります。

また、市町村でまとめられた市町村誌(史)の「民俗編」に、「食」に関する記述がある場合もあります。市町村誌(史)は「地理、地誌」(29-)の分野の書架にあります。



山梨の地場産業資料を集めた「郷土の恵み人の技」コーナー

(例)	書名	編著者名	出版社	出版年	内容紹介
	日本の「食」とくらし5都道府県別調べ学習データブック		学習研究社	2003	全国の郷土料理と特産物を、都道府県別に紹介。
	甲斐路 ふるさとの味	山梨県	山梨県	1982	全県域、峡中、峡東、峡南、峡北、郡内に分け、各地域ごとの郷土料理のいわれと作り方などを紹介。
	食は生きる源 山梨の郷土食・伝統食	関東農政局甲府統計・情報センター	関東農政局甲府統計・情報センター	2004	主な食材別に、カラー写真と簡単な解説で県内各地の郷土食・伝統食を紹介。
	日本の食生活全集 19 聞き書 山梨の食事	「日本の食生活全集 山梨」編集委員会	農山漁村文化協会	1990	聞き書から、昭和初期ごろの食生活を再現。県内5地域と桐原の食を取り上げる。巻末に索引あり。

#### 4 新聞記事で探してみましょう。

新聞の1ヶ月分をまとめた「縮刷版」には目次があります。「暮らし・衣食住」などの関連する分野を探してみます。

#### 5 雑誌から、「郷土食」に関する記事を探してみましょう。

(例)「ザ・やまなし」(山梨日日新聞社)、「甲斐路」(山梨郷土研究会)、「ふれあい」(山梨県)、「るるぶ山梨」(JTB) など

#### 6 インターネットで情報収集

代表的な検索エンジン「Google」「Yahoo!Japan」などで、キーワードをもとに検索してみましょう。

山梨の郷土食を紹介しているウェブページの例として、「山梨県栄養士会」(<http://www.eps4.comlink.ne.jp/~yamaei/>)の「山梨物産館」(<http://www.yamanashi-bussan.jp/>)の「味わう」「食べる」ページがあります。

また、各市町村役場のホームページに、特産品や郷土料理が紹介されている場合もあるので見てみましょう。



# 山梨の文化財



〈取水口制水門〉

国指定重要文化財（建造物）

八ツ沢発電所施設（東京電力㈱）

（平成十七年十二月二十七日指定）

東京電力八ツ沢発電所は、当時の東京市への電力供給を目的に、明治末期から大正初期にかけて建設された、我が国最初期の大容量発電・長距離送電を実現させた水力発電所です。

今回指定となったものは、取水口施設、隧道、水路橋、調整池堰堤など二十の構造物群で、大月市から上野原市にかけての約十四kmの範囲に現存しており、いずれも現在稼働中です。

それぞれ類型の異なる構造物に当時の高度な建設技術が発揮されており、保存状態もよく、当初の状態をほぼ維持していることから、我が国の土木技術や水力発電事業の歴史を知るうえで、大きな価値を持つております。

このような我が国の近代化に貢献した産業・土木等に係る文化財を近代化遺産と称しますが、八ツ沢発電所施設は本県初の近代化遺産の重要文化財であり、全国最大規模の重要文化財でもあります。

## 主な行事予定

県立博物館

開館記念特別展

「よみがえる武田信玄の世界」

3 / 28 ~ 5 / 14

県立文学館

企画展「辻邦生展」

4 / 29 ~ 6 / 25

県立図書館

資料紹介展示

4 / 23 ~ 5 / 28

県立考古博物館

第18回風土記の丘こどもまつり

5 / 4

チャレンジ博物館

「縄文時代の耳飾りをつくろう」

5 / 28

## 表紙を飾る



笛吹市立  
富士見小学校  
3年 浅川広太郎

### 〈作品の紹介〉

「かみなり王国でおとどったよ」

「すきな所へ行って、すきなことができるしたら、みんなは何をしたい？」先生がテーマを出したとき、ぼくは空のかみなり雲に乗って、たいこをたたきながらかみなり様とおどったら、どんなにおもしろいだろうと、ぼくの頭はそのこといっぱいになった。

かみなりランドで、かみなり様の息子と友だちになって、ドンドンゴロゴロ、ドンドンゴロゴロかみなりだいこをおもいっきりたたいとおどっていたら、本物のかみなり様も見に来たよ。ドンドンゴロゴロ、ドンドンゴロゴロ、世界中にたいこの音をとどろかせて、ぼくたちは、雲の上をおどって歩くんだ。

〈指導者：雨宮由佳子教諭〉

## 「声かけ あいさつ」みんなで実践を!!

◆教育に関する疑問、質問等がありましたらお気軽に E-mail 又は FAX して下さい。

アドレス：kyouikusom@pref.yamanashi.lg.jp FAX：055-223-1744

◆教育やまなしのバックナンバーがインターネットでご覧いただけます。

URL：http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyouiku/46150769857.html